潮さい

No.106
2011（平成23年）8月発行
ながす議会だより
発行/熊本県長洲町議会

腹赤保育所

長洲保育所

『願いを込めて、七夕かざり』

6月定例会

23年度一般会計補正予算を可決　9458万円
（総額59億3700万円） 2〜3

一般質問
町の防災・安全対策など　5名が問う 4〜6

臨時議会（5月） 7
あん質問はどがんなった！ 8
特集！『議会50年の歩み』昭和51年〜55年編 9
町民のひろば 10

一般会計 9458万円を追加補正
～総額59億3千7百万円～

全員賛成可決！

平成23年度第2回定例会は6月20日開会し22日まで開かれた。町長提出議案は、補正予算1件、条例制定及び改正が3件、その他2件が提案され、全議案可決した。また一般質問には5名が登壇し、町長の考えを問うた。

主な補正の内容

事業名	予算額(万円)	事業概要
介護予防拠点整備事業	2,450	地域での介護予防活動拠点として公民館等を改修するための補助金を交付する事業。(補助率10/10) 平原区(学習センター) 塩屋区(公民館)　赤田区(公民館) 葛輪区(学習センター)　永方区(公民館)
徘徊SOSネットワーク構築事業	500	地域において、認知症への対応を行うため「地域資源」をネットワーク化し、地域での支援体制の構築や、講演会や研修会による啓発活動を行うための事業。(補助率10/10)
見守り・生活支援システム構築事業	500	一人暮らしや高齢者のみの世帯に携帯電話を貸与し、安否確認を行うためのシステム及び乗り合いタクシーの予約・買い物支援、地域包括支援センターへの相談や緊急通報装置機能を兼ね備えたシステム構築を行う事業。(補助率10/10)
こんにちは赤ちゃん事業	127	家庭を訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供等を行うとともに、親子の心身の状況や養育環境等の把握や助言を行い、支援が必要な家庭に対しては適切なサービス提供につなげるための事業。(補助率10/10)
ワイヤレス放送設備整備事業(葛輪区)	250	葛輪区の有線放送設備が老朽化してきたため、今回、助成を受けて、ワイヤレス放送設備を新設するもの。この放送機器には、蓄電池、太陽電池を備えており、災害による停電時にも放送することができる。(補助率10/10)

【主な質疑】

問　(磯野議員)
コミュニティ助成金を利用した葛輪区のワイヤレス放送設備整備事業の内容は。

答　(まちづくり課長)
規存の放送設備が老朽化したため、新たにワイヤレス放送設備を葛輪区学習センターに設置し区民の方へ情報提供をはかるというもの。

問　(浦辺議員)
ふれあいセンターの改修工事費2924万円。具体的内容は。

答　(福祉保健介護課長)
主な改修内容は、雨漏りする屋根の改修や2階にある児童館を目の届きやすい1階へ移設する費用、またバリアフリー化をはかり各種団体の方、幅広い年齢層の方、障害者の方が利用しやすい施設にしていくための改修だ。

地域支え合い事業など福祉の充実へ

問（樋口議員）
こんにちは赤ちゃん事業とはどのような事業か。

答（福祉保健介護課長）
生後４ヵ月までの乳児のいる全ての家庭を訪問しさまざまな不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供を行うとともに、親子の心身の状況や養育環境等の把握や助言を行い、支援が必要な家庭には適切なサービス提供につなげていくという事業。

問（宮本議員）
こんにちは赤ちゃん事業の中で購入される軽自動車の乗車基準は設けられているか。

答（福祉保健介護課長）
町の公用車となるので、原則として職員が使用する。また公用車は全車禁煙となっている。

問（市原議員）
今回の大震災により広い範囲で停電となり一部地域では津波を知らせるサイレンが鳴らなかったという。葛輪区で新たに整備されるワイヤレス放送、また各行政区の規存の放送設備、停電の時でも機能するような対策を。

答（町長）
早急な整備に向け議論していかなければと思う。

問（池上議員）
生活介護支援サポーター養成事業（300万円）の内容は。

答（福祉保健介護課長）
老人会や町内のボランティア団体に呼びかけ約50名を対象に、サポーターとしての接遇、ホームヘルパーの実践研修、介護予防の必要性や認知症への理解など幅広い分野において習得してもらうための事業である。

問（福永議員）
地域づくり〝夢チャレンジ〟推進補助金の追加分66万6千円。歳出には計上されていないがなぜか。

答（総務課長）
当初予算で事業費400万円が可決された。その後、県が補助率を見直したため（1/2→2/3）その差額分66万6千円は一般財源化し予備費へとまわさせてもらった。

問（川本議員）
月華苑への町有地無償貸付けの契約が3月31日で切れた。4月1日からの契約はいつ決まったのか。

答（総務課長）
平成8年から15年間無償で貸与されていた。3月末に貸付での申し込みがあり、4月1日付で許可し5年間の有償貸与となった。5年後以降は、経営状況も見ながら相談していきたい。

条例の改正

●長洲町税条例の一部改正について

〈内容〉
東日本大震災被災納税者への緊急の対応措置であり、雑損控除の特例・住宅ローン減税の適用の特例。

【主な質疑】

問（川本議員）
東日本とはどこまでか。また住民への周知は。

答（税務課長）
青森・岩手・宮城・福島・茨城・長野・静岡がその範囲であり、住民へは町のホームページや広報で周知する。

全員賛成　可決

●長洲町情報公開条例の一部改正について

〈内容〉
情報公開を推進するため、町の公の施設を管理する指定管理者を加えた。

全員賛成　可決

●個人情報保護条例の一部改正について

〈内容〉
東日本大震災のような大規模災害等が発生した際に、本人から情報を収集する時間的余裕がない場合として、個人の生命や財産などを保護するため、緊急かつやむを得ないと認め、個人情報を目的外利用し、または外部提供するためのもの。

【主な質疑】

問（福永議員）
利用及び提供の制限の中の「本人以外の者に提供することが明らかに本人の利益になるとき」とはどんなときか。

答（総務課長）
今回の大震災のような大規模災害等によって氏名などが分からない場合は審査会を開かず情報を提供することができるということがそれにあたる。

全員賛成　可決

一般質問 町政を問う

川本　幸昭 議員	1．防災対策について 2．原発事故について 3．公害問題について	宮本哲太郎 議員	1．防災計画について 2．環境について
磯野　博 議員	1．学校教育について	市原　一広 議員	1．ゴミ問題について 2．中学生の生徒間交流について
浦邊　朝章 議員	1．東日本大震災に何を学ぶか 2．パーソナル･サポート･サービスについて		

川本　幸昭 議員
地震・津波対策の強化を

問 大震災の教訓として、地震マップの作成、避難場所、避難経路、障がい者・高齢者・子どもの避難対策や新川漁港の水門の整備など国や県の対策を待たずにすぐに取り組む必要がある。また避難場所の町民研修センターには給湯設備を早急に

答 （町長）新たな防災マップを検討したい。
民間の高いビルについて避難場所として協定を検討したい。高齢者等の避難については避難経路と共に検討したい。
研修センターのガスコンロの設置と新川漁港の水門は検討する。

《脱・原発》

問 原発は一回事故が起きると収束が困難だ。
この問題について地方から脱原発の声を上げるべきだ。

答 （町長）今回の事故で原発の「安全神話」が崩壊したと受け止めている。
環境破壊や人類の滅亡に関わると認識している。代替エネルギーの検討が必要と思う。

新川漁港の水門（上沖州）

《公害の現状は》

問 2月末か3月にかけて、健康福祉センターに駐車していた車に塗料が付着していた問題は、当時の気象等から考えれば、造船所からの飛散であることは間違いない。付着塗料の検査結果は95％合致しているのに当社の塗料ではないと主張している。世界的な大企業が非常にご息だ。

答 （町長）造船所から塗料が飛んできたということであれば、私も防止策を強く要望したい。

今こそ ひとつに!!

磯野　博 議員

問 合併50年の長洲町だが、いまだに一つになれていない。それは中学校が二つあるからではないか。統廃合を議論する時期ではないか。

答 （教育長）教育委員会で協議を重ねて継続審議としている。

（町長）いろいろな座談会で意見を伺っている。議会、住民と一緒に統廃合が必要か検討して考えていきたい。

《自転車通学の実現はなるか》

問 活力創出トークの中で長洲中も自転車通学を認めてほしいとの意見があった。確認するが町内の中学校の状況は。

答 （教育長）現時点では腹栄中は全生徒を対象にしており、許可された生徒は認められる。長洲中は通勤車の交通量が非常に多いため、生徒の安全確保を一番に考えている。

問 安全確保を考えるのであれば、部活が終わり、女子生徒が一人で暗い夜道を下校する事に関してはどうか。保護者の納得のいく結果を出していただきたい。

答 （教育長）学校のほうと、また保護者との話し合いを重ねていく。この意見は真摯に受け止めていきたい。

統廃合が必要では？

《本町独自の教育を》

問 来年度の中学校の教科書を選定している時期だと思うが、私は我が日本国の領土である尖閣諸島、竹島、北方領土問題を詳しく記述してある教科書を選んでいただきたいと願う。並びに、日本人としての誇り、また誇りを忘れない教育をしていただきたいと考えるが。

答 （教育長）教育委員会を開き、意見を拝聴して進めていく。また、保護者の方、いろいろな皆様の御意見を反映しながら選定をしていく。

東日本大震災に 何を学ぶか

浦邊　朝章 議員

問 長洲町地域防災計画の見直しはあるか。

答 （町長）津波を想定した避難場所の追加、避難勧告等の情報伝達体制の確認と発令基準の見直しを行った。

問 地域防災力の向上についての今後の取り組みは。

答 （町長）19区で自主防災組織が結成され、秋と春の火災予防運動期間を中心に地域住民、消防団と協力し初期消火訓練や救急救命法等の訓練を実施している。今後は、地震・津波を想定し防災対策や避難訓練等の実施を計りたい。

問 防災情報システムの整備は。

答 （町長）現在、長洲町では同報系の防災行政無線がなく、地区の有線・無線放送及び消防本部の防災無線等を利用し、緊急放送をしている。今後は、同報系のデジタル防災行政無線の整備を計画している。

問 電力の供給不足が予測されるが省エネ対策は。

答 （町長）庁舎内では、夏場の省エネ対策として10月末まで軽装での勤務（クールビス）や冷房の温度管理、緑のカーテンとして、ゴウヤの苗植えを行っている。また、ホームページ等に、家庭でできる省エネ対策を掲載、住民への啓発を行っている。

《貧困・困窮者支援を》

問 「パーソナル・サポートサービス」とは。

答 （町長）パーソナルサポートは個別支援で、国は制度化に向けた検討を進めている。

長洲校区内にある避難所

宮本哲太郎 議員

町の防災計画は万全か

答 （町長）6月2日町の防災水防会議を開催し、関係機関と協議検討を行い連携体制及び有事の際の動員配置等について計画策定を行っている。また町民に対しては、昨年度に作成した「ハザードマップ」を活用して災害時における各自の行動を確認し被害を最小限になるよう推進している。また津波災害の避難場所についても、標高8メートル以上の公共施設を想定し、今年度の地域防災計画に盛り込んだ。今後、民間施設等にも協力してもらい避難場所の拡充を図っている。さらに各区にお願いし自助共助の部分において一層の防災意識の変揚と災害時の被害軽減を図るため、自主の防災組織の結成をお願いしている。今後も地震津波を想定した図上訓練や情報伝達訓練、避難訓練や応急手当等の実施を呼びかけていく。

問 **要援護者への避難態勢は。**

答 （福祉保健介護課長）要援護者一人一人にだれが支援し、どの避難場所に誘導するか個別計画を今年度中に作成する。

3.11　東日本大震災

《塗料飛散はどこからか》

問 **自動車を手で触るとざらざらしている。造船所の塗料飛散ではないかと相談がある。**

答 （町長）確認したら飛散についての苦情があっている。作業手順書に基づき作業している。

問 **人体に影響はないか。**

答 （住民環境課長）多量に吸えば悪い影響がある。

市原　一広 議員

親交深める生徒間交流を！

問 **数年前から長洲中と大分県宇佐市の長洲中が「同じ名前」ということで毎年交流を行っているが、同じ長洲町内にある腹栄中と長洲中の生徒間交流に力を入れて取り組むほうが大切だと思うが。**

答 （教育長）腹栄中、長洲中の交流については、これまで部活動やボランティア活動の交流、立志式における交流などを行っており、これからも両校はお互い連携を図りながら生徒間交流を進めていくと思う。

問 **真に交流を深める取り組みにはなっていない。立志式や成人式を見て何も感じないか。座る場所もはっきり分かれ、お互いの子ども達が言葉をかけ合っている姿、抱き合って喜び合っている姿、一緒に記念写真を撮り合っている姿などあまり見たことがない。今の中学一年生は両校合わせて約160名。10年後は130名まで減る予測だ。この子ども達が将来の長洲町を背負っていくのだ。せめて顔と名前を覚え、どこで出会っても声かけや会話ができるようにしていくことは、大人たちの役割だと思う。**

答 （教育長）私も全く同じ気持ちだ。ただ両校の実状もあるので課題を解決しいろんな場面をつくっていきたい。

《目指せ・ゴミ減量化》

問 **「環境に取り組む町・ながす」として住民が誇れる町にしていかなければと考えるが。**

答 （住民環境課長）燃えるゴミの量が増加している。有明広域への負担金増にもつながることであり、水切りの徹底や具体的なゴミの減量方法等を今後住民へ周知していきたい。

答 （副町長）ゴミの減量化また循環型社会に向けて庁舎内でも職員で何ができるのかを考え、実践していきたい。

真の生徒間交流を

平成23年第1回臨時会が5月16日開会し、議案は専決処分の承認1件、公共下水道特別会計補正予算1件、土地開発公社の経営状況の報告、人事案1件が上程され、審議の結果、全件原案のとおり可決し、当日閉会した。

国民健康保険税
課税限度額引き上げ
最大4万円の負担増

長洲町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認

〈内容〉国保税の課税限度額の引き上げ

問（川本議員）前年に比べ4万円の引き上げになり、町民にとっては大きな負担になるが。

答（税務課長）今回の改正は、国の政令の改正に基づくもの。

問（川本議員）後期高齢者医療制度ができてから国保税が値上がりの方向にある。町民にとっていまの国保財政は問題だ。

答（町長）今後は負担増にならないように町村会等で国に働きかけたい。

賛成多数　承認

国保税課税限度額の新旧表

	現　行	改正後
基礎課税額	50万円	51万円
後期高齢者支援金課税額	13万円	14万円
介護給付金課税額	10万円	12万円
計	73万円	77万円

公共下水道特別会計
13年連続の繰上充用

公共下水道特別会計補正予算

〈内容〉歳入歳出予算の総額に6億7910万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ20億1905万円とする。

【主な質疑】

問（川本議員）急激に赤字の解消では町民に負担がかかる。生活を守りながら下水道問題に取り組むべきだ。

答（町長）長洲町は実質公債比率が18％を越えているため起債許可が必要になる。赤字解消をめざし財政健全化計画を策定している。

問（永田議員）健全化のために努力すると言われたが、何を指しているのか。

答（下水道課長）これまでも経費削減に努力してた。さらに削減できる部分は削減していきたい。

賛成多数　承認

土地開発公社の経営状況について

【主な質疑】

問（福永議員）土地開発公社は緊急行財政行動計画では解散の方針を定めている。解散に向けての協議をすべきではないか。

答（副町長）平成18年に策定された緊急行財政行動計画に沿って現在進めている。

下水道の赤字が解消した時点で明確にしたい。

人事案件

監査委員

馬場　國勝　氏（清源寺区）再任

追跡レポート あん質問はどがんなった

平成23年3月　一般質問

公共施設の安全性を問う

　役場の正面玄関の4段階段が雨の日に滑って危険である。対策を。

答　弁

　優しいまちづくりを進める上でそのようなあぶない階段には滑りどめが必要である。

　役場玄関の階段に滑りどめが施工された。

平成22年9月　一般質問

教育環境の充実を

　来年以降も猛暑が予想される。教室内に扇風機等必要だと思うが。

答　弁

　来年度以降も猛暑が予想されるので全校全クラスでの扇風機設置を検討する。

　全校全クラスに扇風機が設置された。

その後の対応は

特集　議会50年の歩み

昭和51年～55年編

役場新庁舎落成

昭和53年9月30日に新庁舎が落成しているが、昭和51年第1回定例会は「土地取得について、及び役場位置の変更について」が提案され質疑がなされている。

◆当時の質疑

問 清里校区から庁舎予定地に通ずる道路計画はどのようにされるか。

答 まだ決定はしていない。しかし当然考慮しなければならない。

問 町長はどういう経済的見通しのもとにいつ頃庁舎建設に着手される予定か。

答 出来れば52年度からは十二分に庁舎の建設が出来る財政事情になって来るので建設に着手したい。

基礎工事を終えた新庁舎建設予定地（現在の役場）

長洲町のあゆみ（昭和51年～55年）年表

昭和51年

三月　新川橋完成
三月　長洲小学校校舎落成
五月　長洲小学校創立百周年
五月　東洋サッシ工業（株）名石浜工業団地へ進出
十月　六栄緑地広場完成
十月　下水道基本計画決まり着工へ
十二月　腹栄地区圃場整備事業開始
十二月　宮崎川河川改修事業開始

昭和52年

三月　総合グラウンド（夜間照明付）完成
三月　大字姫ヶ浦埋立工事完成（九七、四八八平方㍍）
三月　腹赤小学校体育館落成
三月　熊本地方法務局長洲出張所廃止
四月　上沖洲児童公園完成
五月　中逸光氏町長就任（四期目）
八月　B&G財団長洲海洋センターオープン
九月　腹栄中学校校舎火災に遭遇
十月　長洲町合併二十周年
十月　町議会議員選挙
十月　金魚養殖百周年を迎え、百周年祭を行う

昭和53年

三月　清里小学校体育館落成
三月　文化センター落成
三月　清里児童公園完成
三月　浦川中央橋完成

昭和53年

三月　井樋内町営住宅完成
六月　特定不況地域に指定される
九月　B&G財団長洲海洋センター武道場落成
九月　役場新庁舎落成

昭和54年

二月　腹栄中学校校舎落成
三月　中道児童公園完成
三月　清源寺児童公園完成
三月　出町ちびっ子広場完成
八月　国土調査事業完了
十一月　下水道終末処理場起工式

昭和55年

三月　長洲小学校体育館落成
三月　宮崎児童公園完成
七月　B&G財団長洲海洋センタープール完成
十一月　長洲中央ちびっ子広場完成

長洲町議会50年史
好評発売中

ぜひ、ご家庭に1冊ご購入ください。

価格
3,000円
（税込）

町民のひろば

傍聴席から一言

小柳　和之さん（赤田区）

初めて区長に誘われて、長洲町町議会を傍聴に行きました。その日は、夜勤明けでしたが、いい機会と思い、町議会を傍聴させて頂きました。議会を傍聴していてしらずしらずのうちに眠気も忘れてしまい、引き込まれていきました。議員さんが長洲町の諸問題に対して一生懸命取りくんであるのが、傍聴席まで伝わって来ました。今まで、長洲町に住んでいながら、長洲町の事はほとんど判ってないとつくづく思いました。議会を傍聴していて、長洲町の全体の事が判って来ました。今まで自分の住んでいる地区のことしか判らなかったので長洲町の全体が判りました。

これからも、これを機会に町議会を傍聴に行きたいと思います。

町民の一言

祇園祭保存会

40年振りに復活した祇園さん、今年で復活3年目を迎え、回を重ねるごとに伝統行事が根付き、子供御輿も繰り出すようになりました。小・中学校が夏休みに入ってからの一番暑い時期の行事です。なぜ一番暑い時期に祇園さんかと思われますが、祇園さんに付き物の祇園さん豆は、はじき豆ともいって夏の暑さをはじき飛ばし、まめに動いて、健康で暑い夏を乗り切ろうとの願いが込められています。また、祇園さんの時期になると「キュウリ断ち」と言って、祇園さんの頃が一番美味しい旬のキュウリを食べず、身を清めて御輿を担いだものでした。最後の日は御輿がお宮を3回廻りますが、その後「冷や奴」を食べていたそうです。古き良き時代への回帰も一考では。

ひと言

3・11東日本大震災・福島原発の大惨事から、この夏の電力不足をどう乗りきれるか、企業でも多くの対策がとられています。

今年の夏も、去年の猛暑以上の暑さ、ながい夏がつづくであろう。

わが町では国内最大級のメガソーラー、太陽光発電が稼働している。「環境の町・長洲」にと町は取り組んでいる。今、子ども達は環境についてとても関心があり、ゴミに対してもよく心がけていることを見かけます。

私達家庭の中でも細かいことからの節電・ゴミの減量化・マイバック持参などやれることはたくさんある。もっともっと心がけ、エコ生活を楽しみたい。（樋口）

広報委員
委員長　市原　一広
副委員長　樋口エミ子
委　員　磯野　博
委　員　浜村　芳光
委　員　上野　弓雄
委　員　川本　幸昭

発行責任者
議　長　松井　一也

皆さん傍聴に来て下さい。

次の定例会は
9月14日開会の予定です

■問い合わせ先
議会事務局
電話　78-3291
手続きは住所・氏名・年令を書くだけです

発行　長洲町議会
編集　議会広報調査特別委員会
〒869-0198熊本県玉名郡長洲町大字長洲
TEL 0968-78-3291
FAX 0968-78-1092